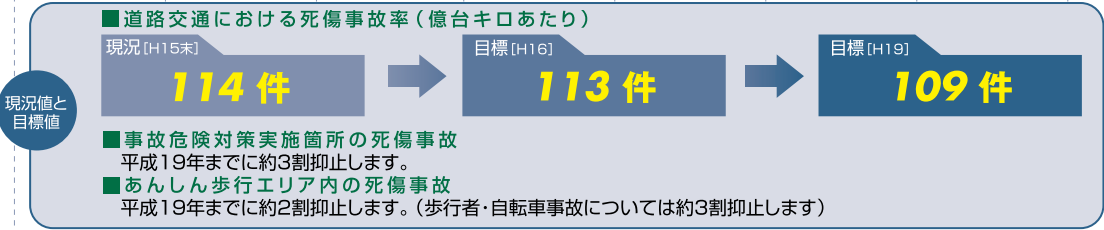


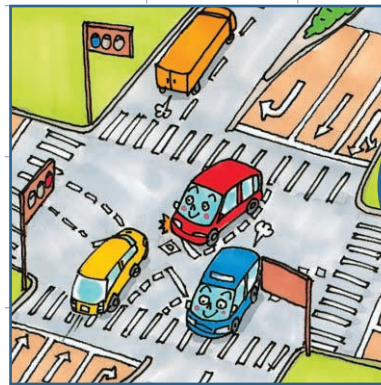
8 道路交通における死傷事故率



現況



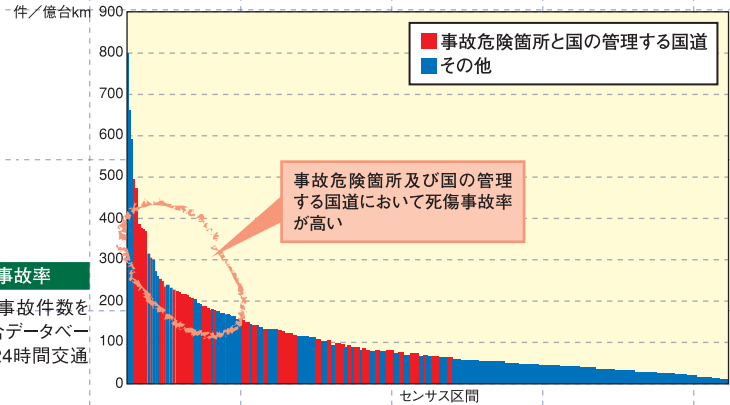
目標



交通事故は地域社会にとって大きな損失を招いています。そのため死傷事故を減少させることを、指標としました。

現況と課題分析

広島県における交通事故は事故危険箇所及び幹線道路に集中しており、事故危険箇所及び国の管理する国道で広島県全体の約50%が発生しています。これらの地点及び路線は、センサス区間別の事故率で見ても上位を占めています。

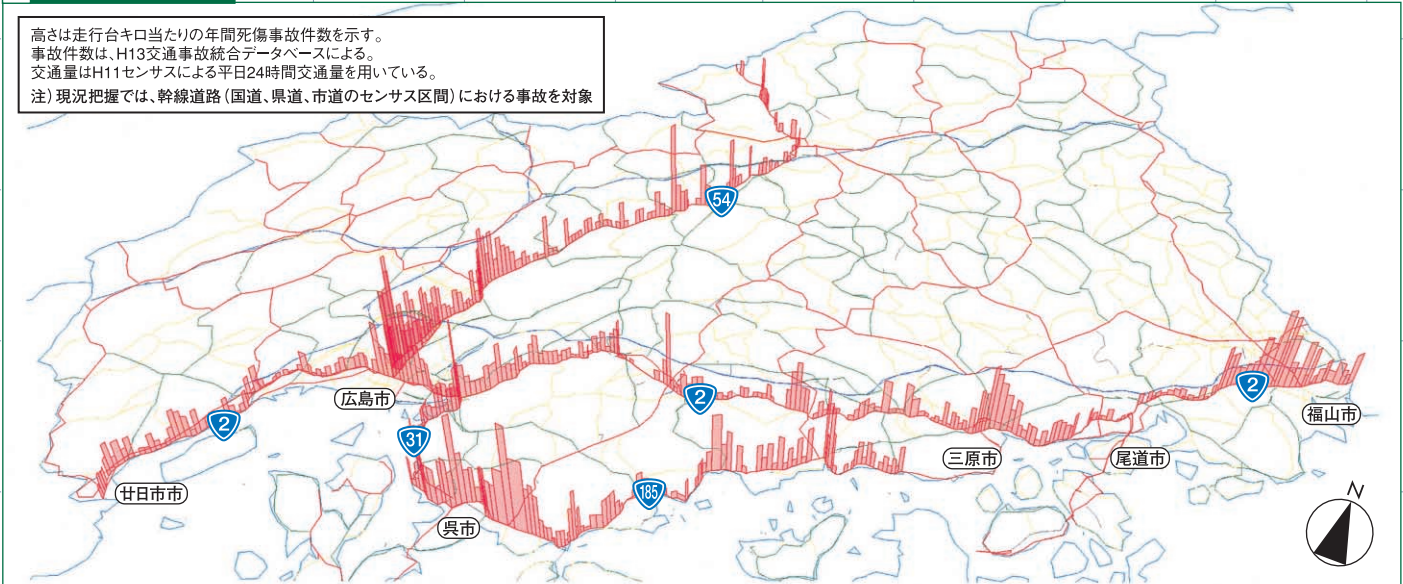


▶ 広島県内の幹線道路における死傷事故率

※高さは走行台キロ当たりの年間死傷事故件数を示す。事故件数は、H13交通事故総合データベース、交通量はH11年センサスによる平日24時間交通量を用いている

▼ 広島県内の死傷事故率

高さは走行台キロ当たりの年間死傷事故件数を示す。事故件数は、H13交通事故総合データベースによる。交通量はH11年センサスによる平日24時間交通量を用いている。
注) 現況把握では、幹線道路(国道、県道、市道のセンサス区間)における事故を対象

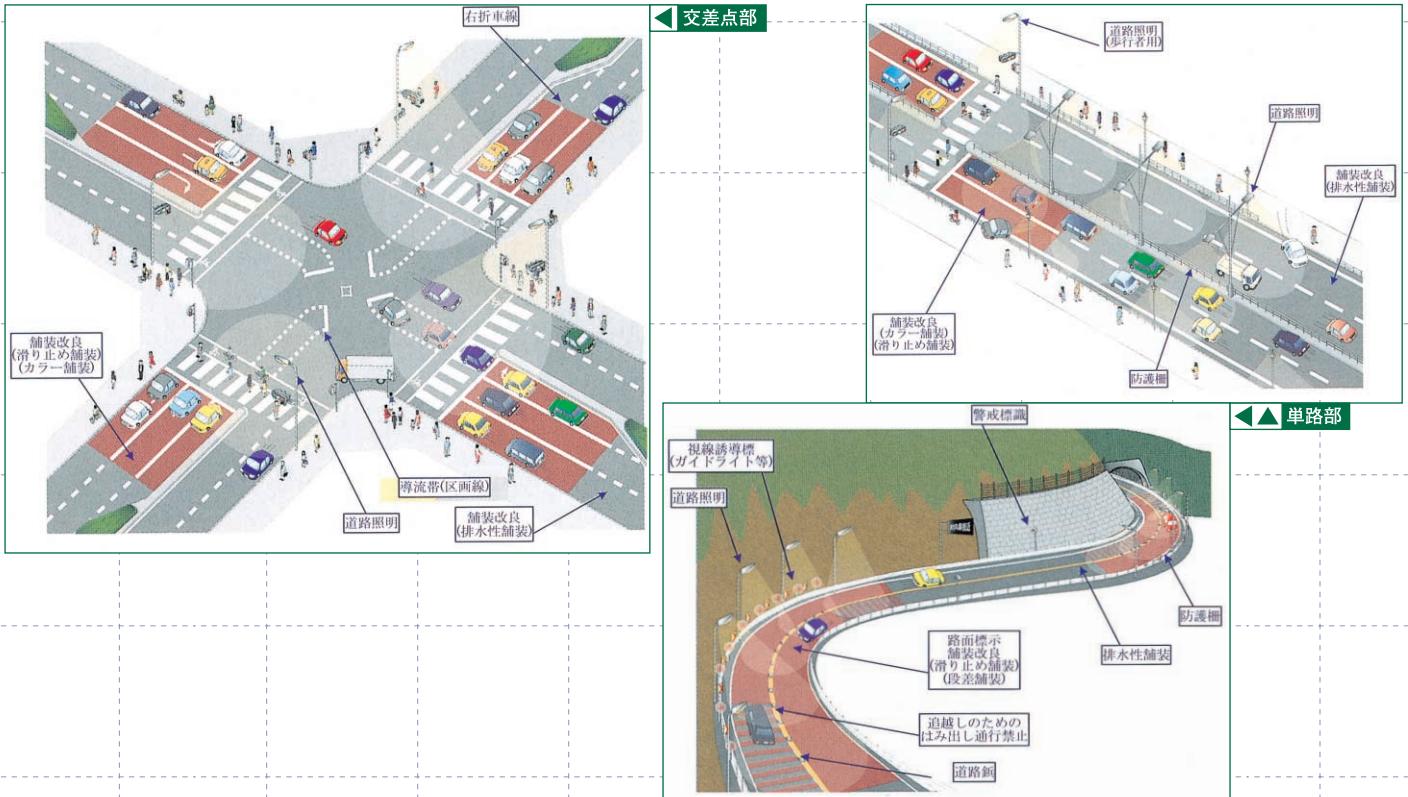


資料:H13事故総合データベース(広島県)

**施策・事業
の選定**

事故危険箇所やあんしん歩行エリアにおいて公安委員会等との連携を図り、総合的かつ集中的な交通安全対策を実施します。また、国道2号など事故率の高い区間において、平行するバイパス整備等の事業を推進します。

事故危険箇所の改善イメージ



出典:平成15年度道路行政の業績計画書

あんしん歩行エリア(20カ所)の推進

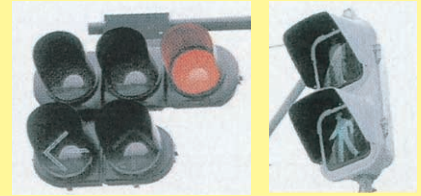
歩行空間の整備

- 路側帯の拡幅
- 歩道、自転車道、幅の広い歩道、歩道共存道路に整備
- 段差・勾配の解消、電線類の地中化



信号機等の整備

- 交通量等の情報を基に、信号機を制御
- LED式信号灯器、バリアフリー対応型信号機を設置
- 高輝度・自発光式道路標識などの設置



交差点の改良

- 右折車線の配置
- 変形交差点の改良
- 駐車スペースの確保
- 違法駐車取締り

歩行者・自転車を優先するゾーンの形成

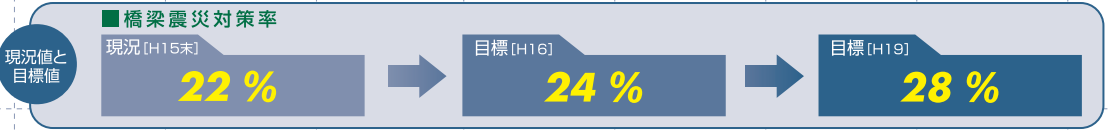
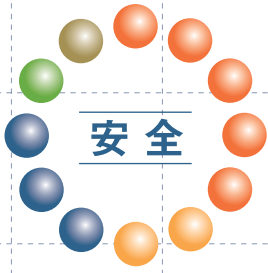
- 最高速度規制 ○ハンプの設置
- 歩行者自転車用道路の規制



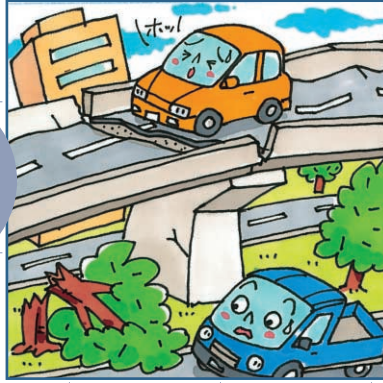
あんしん歩行エリア整備イメージ

出典:平成15年度道路行政の業績計画書

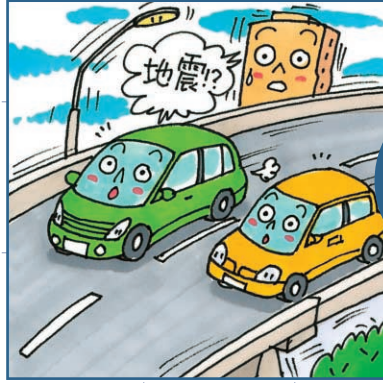
9 緊急輸送道路における橋梁震災対策率



現況



目標



災害時における救援ルートを確保するため、この指標を採用しました。

平成16年度アウトカム・プラン

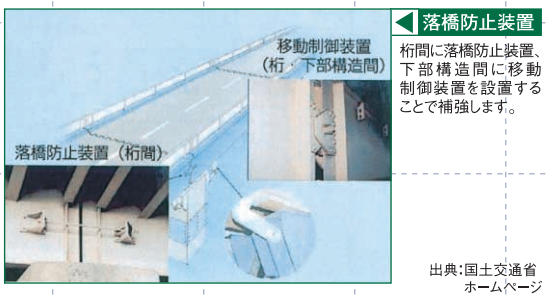
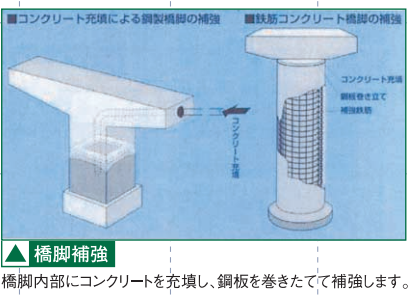
現況と課題分析

広島県内においては、阪神・淡路大震災規模の地震が発生した場合、第1次緊急輸送道路において、落橋等により道路が分断されないように対策が行われている橋梁は約2割です。今後防災対策強化の一環として、橋梁震災対策を実施していくことが必要です。

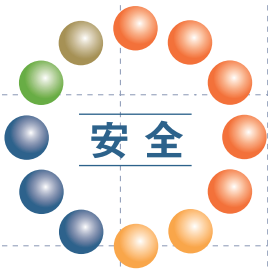


施策・事業の選定

災害時における地域の緊急活動を支援するためには、第1次緊急輸送道路が最低限確保されている必要があり、橋脚補強や落橋防止等の震災対策が必要です。より重要な橋梁については、優先的に対策を進めており、国の管理する国道においては、平成19年度にはほぼ完了する予定です。



出典:国土交通省ホームページ



アウトカム指標に基づく取り組み

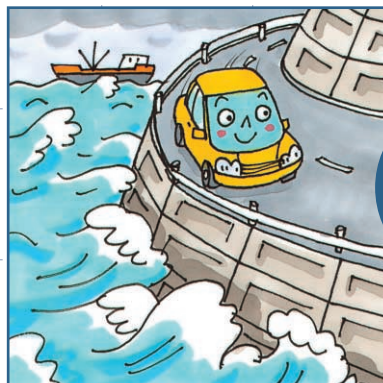
10 事前通行規制区間等における代替路線の整備率



現況



目標



大雨や台風の時、沿岸部や河川部での冠水や洪水により孤立する区域をなくすため、この指標を採用しました。

現況と課題分析

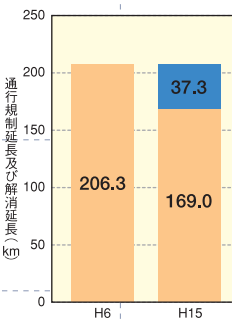
一般国道の異常気象時における通行規制延長は平成5年には約206kmでしたが、平成15年までの10年間に約37kmの代替路線が整備され、代替路線の整備率は現在18%です。しかし、異常気象時において通行が規制される区間は依然として多く残っています。



▲ 越波による路面冠水 (一般国道2号 三原市下木原)



▲ 洪水による路面冠水 (一般国道375号 三次市作木町)



平成15年までに解消された延長

	平成6年	平成15年
規制延長	206.3	169.0
解消延長		37.3
解消率		18%

- 事前通行規制区間 (県の管理する国道)
- 事前通行規制区間 (国の管理する国道)
- H15年までの解消済み路線
- H19年までの解消予定の路線



施策・事業の選定

異常時等の通行規制により、周辺から孤立する地区をなくすために、バイパス等の代替路線の整備を行います。

通行規制区間の代替路線の整備

▲ 広島県事前通行規制区間